



こいそ としお
小磯 利雄 議員

住宅地開発

延期となった責任どちらか

町長／責任を問うものではない

小磯

①県が「津波浸水想定」を公表したことで住宅地開発が事業見直しになりました。

これまで計画地への投入額と今後の歳出予定はいくらになりますか。

②この様な事態を招いた責任はどちらにありますか。

③民間企業である事業者に新たな事業は発生しませんか。

町長

①これまで計画地への投入額は、合計約1億9050万円です。令和4年度は、福島再生加速化交付金を活用した下水道管布設工事約4400万円、水道企業団による水道管布設工事約4500万円を計画しています。

②県が公表した浸水想定は、満潮時、堤防の地盤沈下が盛り込まれ、防災緑地内に津波が侵入する想定となったため、当初計画の変更が必要となりました。

消防団

処遇の改善を

町長／改善に向けて検討

小磯

①訓練等の出勤実績を伺います。
②報酬及び費用弁償額等処遇改善の観点から、見直しする考えはないか伺います。
③現況に合わせ、団の再編や定数見直し、さらに一層高度化された消防機械の配置などの拡充について伺います。

町長

①令和3年11月28日つなぎ放水訓練に50人、出初め式や検閲等にも出勤しています。
②町消防団の報酬及び費用弁償、備品等の改善に向けて検討します。
③自然災害、火災等への有事即応体制の確立に向けて団の再編や定数について引き続き検討して対応していきます。
高度な消防機械を保有している双葉地方広域市町村圏組合消防本部等と連携を図り、火災、大規模災害時における消火及び避難誘導、救護活動等を行う消防活動の支援体制を構築しています。

給食調理場

施設の改修は

教育長／緊急性等鑑みて検討

小磯

①設備の老朽化が目立ちますが、完成した日はいつですか。
また、アスベスト使用はありませんか。

②学校給食法等の改正に本町施設でどのような対応されていますか。
③施設の施設、大規模改修について伺います。

教育長

①昭和63年3月に建築されました。設計年次、設計図書からアスベストを含んでいると思われるです。

②学校給食法に定める7つの「学校給食の目標」達成を目指し、「生きた教材」になり得るよう献立の質の向上に務め、小学校・中学校と連携しながら、食育推進の取組を行っています。
③老朽化や改善が必要な箇所は、緊急性等を鑑みながら改修・改善を速やかに行うとともに、施設の施設、大規模改修について検討、協議を進めていきます。

町長

3期目への意気込みは

町長／町民と対話し全力で

北郷

①3期目の就任にあたり、今後の町政執行をどのような目標を持って望んでいくのか伺います。

②駅前側若者移住定住プログラムは今後の町政の中で大きな課題になると思われますが対策等について伺います。

町長

①具体的な施策として、町独自の健康福祉手帳の作成や広野健康ポイント事業など、健康・長寿を意識した施策の更なる推進を図っていきます。

子ども園、小中学校、ふたば未来学園と高等学術教育機関と連携を図り、今後整備される国際教育研究拠点の更なる展望を国に提言していきます。

住民と復興関連従事者が共に支障なく生活できる環境を整えていきます。

第2期復興・創生期間に入りましたが、町の復興は道半ばであり、今後においても、未だ避難をされている方を含め全ての町民との対話を大切にしながら、次の世代へと引き継ぎ

る町を創生していきます。

広野町の復興・創生から、双葉地方さらには福島県全体を見据え、被災地が希望を感じる事ができる復興・創生を果たせるよう、全身全霊・全力で取り組んでいきます。

②第五次町勢振興計画において、令和7年度、広野町の人口5千人を堅持すると目標に定めています。

被災地復興のシンボルである広野駅東側に住宅団地を整備し、若者世代の移住・定住施策を行い、目標達成に向けて取り組んでいきます。

これまでの子育て、教育、住宅、就労、医療、福祉などの施策をより充実・強化させ、専用窓口で専門員が一

括して案内するとともに、ホームページやパンフレットの刷新を図り、情報発信により関係人口を広げ、広野町が移住先に選んで頂けるよう国や県などが主催する移住イベントにも積極的に参加し、トップセールスにより、県内はもとより県外にも積極的にアプローチを行い、海と山に囲まれ自然豊かな風光明媚の風土・風習を今後50年、100年先の魅力ある町づくりに向けて取り組んでいきます。



町長の3期目初登庁

きたごう みちひろ
北郷 伯弘 議員